

○研究プロジェクト  
「持続可能な開発と責任ある経営教育に向かう大学の潜在力」

開催責任者 ビジネス研究科 高田一樹  
経営学部 薫 祥哲

2014年12月20日

南山大学名古屋キャンパス J棟4階415会議室



研究プロジェクトは以下のとおり、開催された。

◇報告者および題目

1. 三浦 聡（名古屋大学大学院法学研究科教授、Special Adviser and former Researcher in Residence, PRME Secretariat）  
「責任ある経営教育原則（PRME）の展開と展望」
2. 梅津光弘（慶應義塾大学商学部准教授、同グローバルセキュリティ研究所「慶應－国連 PRME プロジェクト」リーダー）  
「国内 PRME の動向と慶應－国連 PRME プロジェクトの挑戦」
3. 高田一樹（南山大学大学院ビジネス研究科、慶應義塾大学グローバルセキュリティ研究所客員研究員）  
「復興構想&CSR 構想インターゼミナールの取り組み」

4. 青山 勳（岡山大学名誉教授、岡山 ESD 推進協議会会長）  
「持続可能な開発のための教育（ESD）の理念と展望」
5. 鈴木克徳（金沢大学環境保全センター長、教授）  
「持続可能な開発のための教育(ESD)の課題と展望－高等教育機関が果たすべき役割」

#### ◇ワークショップの討論内容

本研究プロジェクトは、「責任ある経営教育原則」（PRME）、「持続可能な開発のための教育」（ESD）など、高等教育を対象とする国連中心の新たなイニシアチブが、国内でどのように活動してきたのか、とりわけ経営教育における意義や方向性を探ることを目的として行われた。プロジェクトの開始から 2 つのイニシアチブおよび経営倫理教育に関する文献研究を中心に行い、その成果を日本経営学会関西研究部会（2014 年 12 月 6 日、追手門学院・梅田サテライト）で、タイトル「能動的な経営倫理教育の可能性——ケース・メソッドとプロジェクト型の授業を手がかりとして」として発表した。そして同学会経営教育研究部会（2015 年 3 月 24 日、金沢工業大学）に出席し、経営倫理を学ぶ学生の報告を聞いたほか、「グローバル人材」の育成と経営倫理教育について情報共有と意見交換を行った。また昨年 12 月研究会のワーキングペーパーの刊行に向けた打ち合わせも行うことができた。

#### ◇研究成果発表

高田一樹、「経営を語らせ倫理を教える—国内におけるケース・メソッドの受容とその教育効果に関する省察」、『日本経営倫理学会誌』第 22 号 pp.135-149、2015 年 1 月